

令和 7 年度病害虫発生予察指導情報

ナシ黒星病：胞子飛散情報（No. 11）

令和7年5月20日
鳥取県病害虫防除所

表 1 日別胞子採集状況（調査地点：鳥取県園芸試験場） 単位：個

月・日	子嚢胞子 (落葉由来) (個)	分生子 (花叢由来) (個)	‘新甘泉’の 生育(作業) ステージ	月・日	子嚢胞子 (落葉由来) (個)	分生子 (花叢由来) (個)	‘新甘泉’の 生育(作業) ステージ
3/16	0	1.1		4/26		－	
3/17	0	1.5		4/27	0	－	
3/18	0	0.7		4/28			
3/19		－		4/29	8	5.8	
3/20	0	－		4/30	0	－	摘果期
3/21		－		5/1	5		
3/22	0	－		5/2	2	9.2	
3/23		－		5/3		－	
3/24	0	0.3	発芽期	5/4	4	－	
3/25	0	－		5/5		8.8	
3/26	0	－	花蕾露出期	5/6	2	21.8	
3/27	0	0		5/7	0	－	
3/28			鱗片脱落期	5/8	0	－	
3/29	0	1.6		5/9			
3/30				5/10	1	6.4	
3/31	0	－		5/11			
4/1	0	－		5/12			
4/2	0	－		5/13			
4/3	1	0		5/14			
4/4		－		5/15			
4/5	0	0		5/16			
4/6	1	－	展葉期～パルレーン期	5/17			
4/7	0	－		5/18			
4/8	0	－	開花始め	5/19			
4/9	0	－		5/20			
4/10	11	0.6		5/21			
4/11	17	－	満開	5/22			
4/12		－		5/23			
4/13	106	0		5/24			
4/14	2	0		5/25			
4/15	1	0.3		5/26			
4/16		－		5/27			
4/17	0	－		5/28			
4/18		－		5/29			
4/19	57	－	落花期	5/30			
4/20		1.3		5/31			
4/21	1	－					
4/22	3	18.0					
4/23	328	0.9					
4/24	2	－					
4/25	0	－					

注）ーは無降水のため調査未実施、生育（作業）ステージは遠視による調査。

表 2 半旬別胞子採集状況（調査地点：鳥取県園芸試験場） 単位：個

月・旬	子嚢胞子			分生子			月・旬	子嚢胞子			分生子		
	本年	前年	平年 (H28～R6)	本年	前年	平年 (H27～R6)		本年	前年	平年 (H28～R6)	本年	前年	平年 (H27～R6)
3・4	0	0	0	3.3	0	0.1	4・6	8	1	9.4	5.8	36.0	23.1
3・5	0	2	4.2	0.3	6.4	2.2	5・1	11	0	0.9	18.0	1.8	14.4
3・6	0	6	15.6	1.6	2.9	4.8	5・2	3	1	0.4	28.2	0	20.4
4・1	1	100	26.9	0	13.1	10.8	5・3		0	0.1		6.1	11.9
4・2	12	66	12.1	0.6	8.8	11.6	5・4		0	0		0	21.3
4・3	126	4	44.9	0.3	0.5	9.5	5・5		0	0		－	6.8
4・4	57	4	4.7	1.3	3.6	6.3	5・6		0	0		1.6	22.1
4・5	334	4	43.2	18.9	54.9	47.5							

注）平年値は調査期間のうち、9年以上の値から算出。

＜情報の内容＞ 5月第2半旬調査結果

- ・病落葉からの子嚢胞子の飛散量は、平年に比べて多かった。
- ・花叢基部からの分生子の飛散量は、平年に比べてやや多かった。

＜参考＞

- ・発生量の記載
発生量の多少は中央値（median）の考え方を基に決定しており、発生の実態に即している。そのため、本年値と平年値の関係が発生量の記載と一致しない場合がある。
- ・子の胞子採集方法
病落葉（前年採集）の上に設置した胞子採集機内にグリセリンゼリーを塗布したスライドガラスを静置（24～72時間）し、スライドガラスに付着した胞子数を調査した。表の値は罹病落葉100葉あたりの子嚢胞子数。
- ・分生子採集方法
雨滴法（漏斗を罹病した腋花芽の下に設置）により雨滴中の胞子数を降雨日ごとに調査した。表の値は4花叢調査の平均値。